

静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013

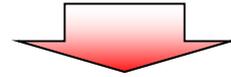
津波対策施設の整備（ハード対策）の概要

津波対策施設の整備方針、整備目標

【対象とする津波】

レベル1の津波

発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす津波



津波対策施設の整備（ハード対策）で対応

【対策の目標】

津波を防ぐ

防潮堤等津波防御施設の整備を進め、計画期間の10年間で、レベル1の津波による人的被害を8割減少させることを目指す

人的被害は、各市町のレベル1津波による想定死者数の合計。
津波防御施設の整備による人的被害の減少効果を津波浸水シミュレーションの結果から算出。

【対策の内容】

津波を防ぐ施設高の確保

施設の質的強化

- ・液状化による施設の沈下等を防ぐ耐震性の確保
- ・津波が施設を乗り越えた場合にも粘り強く減災効果を発揮する構造（耐浪性があり、洗掘されにくい構造）への改良

静岡モデルの推進

海岸の津波対策施設整備の概要

津波を防ぐ施設高の確保

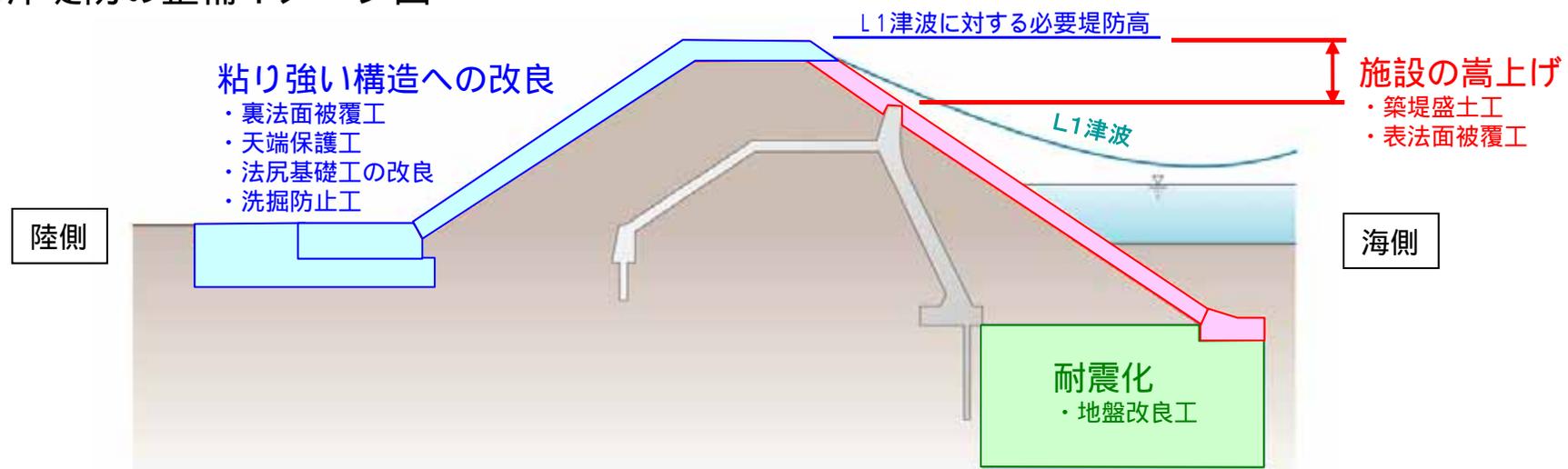
レベル1の津波に対して施設高が不足する津波対策施設（117.1km）のうち、68.0km（約60%）において津波を防御できる高さまで**施設の嵩上げ**を実施
〔達成時期〕H34年度末

施設の質的強化

耐震化が必要な海岸堤防（116.3km）のうち、69.6km（約60%）において液状化対策等を実施 〔達成時期〕H34年度末

粘り強い構造への改良が必要な海岸堤防（158.8km）のうち、79.5km（約50%）において整備を実施 〔達成時期〕H34年度末

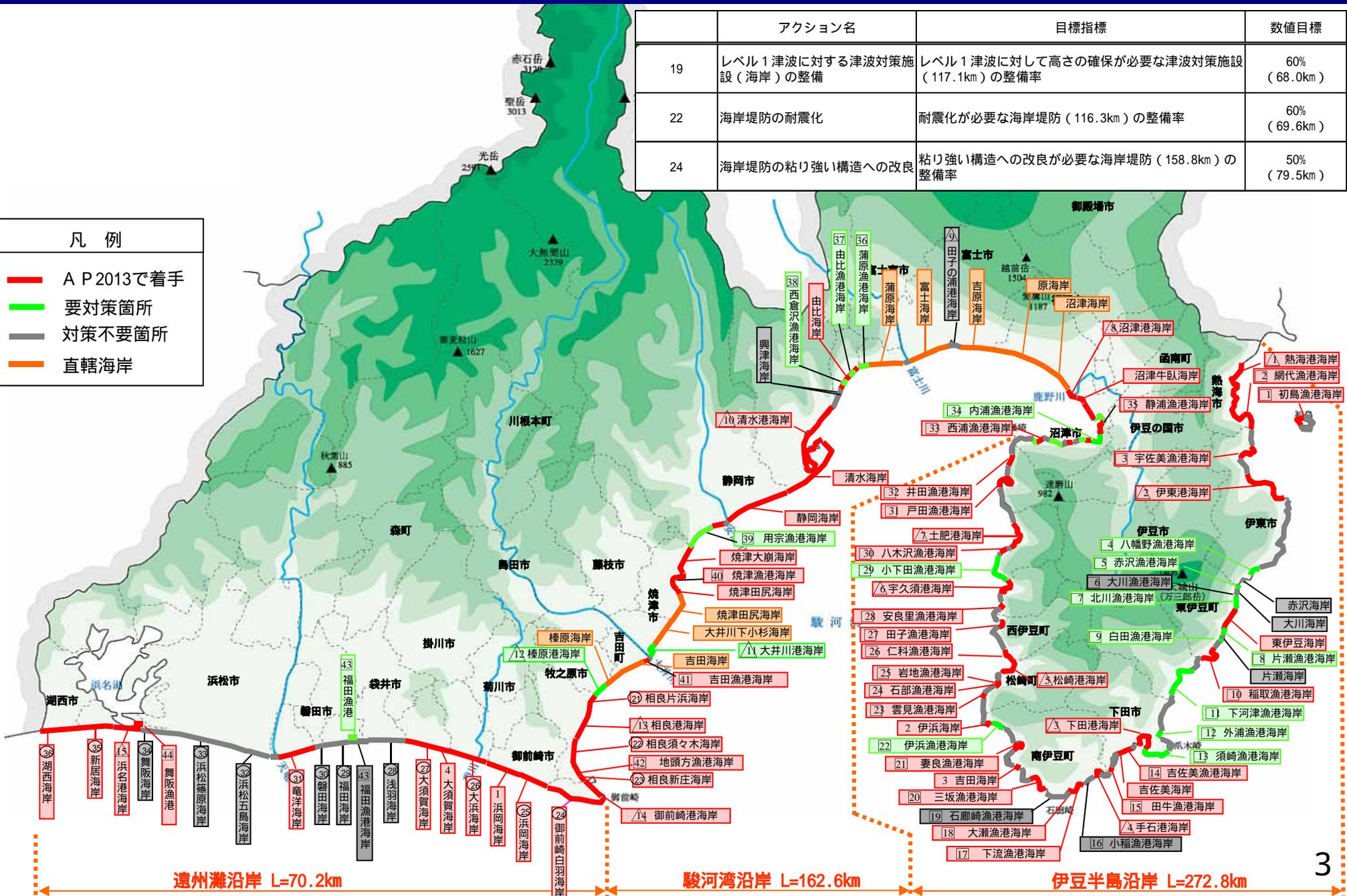
海岸堤防の整備イメージ図



海岸の津波対策施設の整備箇所図 (1 / 2)

	アクション名	目標指標	数値目標
19	レベル1津波に対する津波対策施設(海岸)の整備	レベル1津波に対して高さの確保が必要な津波対策施設(117.1km)の整備率	60% (68.0km)
22	海岸堤防の耐震化	耐震化が必要な海岸堤防(116.3km)の整備率	60% (69.6km)
24	海岸堤防の粘り強い構造への改良	粘り強い構造への改良が必要な海岸堤防(158.8km)の整備率	50% (79.5km)

凡例	
—	A P 2013で着手
—	要対策箇所
—	対策不要箇所
—	直轄海岸



海岸の津波対策施設の整備箇所図 (2 / 2)

国土交通省水管理・国土保全局所管海岸

	海岸名	市町名	嵩上げ対策	液状化対策	粘り強い構造への改良
1	赤沢海岸	伊東市			
2	大川海岸	東伊豆町			
3	東伊豆海岸	東伊豆町			
4	片瀬海岸	東伊豆町			
5	吉佐美海岸	下田市			
6	沼津牛臥海岸	沼津市			
12	由比海岸	静岡市			
13	興津海岸	静岡市			
14	清水海岸	静岡市			
15	静岡海岸	静岡市			
16	焼津大崩海岸	焼津市			
17	焼津田尻海岸	焼津市			
21	相良片浜海岸	牧之原市			
22	相良須々木海岸	牧之原市			
23	相良新庄海岸	牧之原市			
24	御前崎白羽海岸	御前崎市			
25	浜岡海岸	御前崎市			
26	大浜海岸	掛川市			
27	大須賀海岸	掛川市			
28	浅羽海岸	袋井市			
29	福田海岸	磐田市			
30	磐田海岸	磐田市			
31	竜洋海岸	磐田市			
32	浜松五島海岸	浜松市			
33	浜松篠原海岸	浜松市			
34	舞阪海岸	浜松市			
35	新居海岸	湖西市			
36	湖西海岸	湖西市			
	要対策海岸数		8	8	18
	要対策延長		23.3km	8.4km	43.6km
	A P 目標延長		6.4km	2.2km	10.6km

国土交通省港湾局所管海岸

	海岸名	市町名	嵩上げ対策	液状化対策	粘り強い構造への改良
1	熱海港海岸	熱海市			
2	伊東港海岸	伊東市			
3	下田港海岸	下田市			
4	手石港海岸	南伊豆町			
5	松崎港海岸	松崎町			
6	宇久須港海岸	西伊豆町			
7	土肥港海岸	伊豆市			
8	沼津港海岸	沼津港			
9	田子の浦港海岸	富士市			
10	清水港海岸	静岡市			
11	大井川港海岸	焼津市			
12	榛原港海岸	牧之原市			
13	相良港海岸	牧之原市			
14	御前崎港海岸	御前崎市・牧之原市			
15	浜名港海岸	浜松市・湖西市			
	要対策海岸数		12	14	14
	要対策延長		52.0km	50.7km	53.5km
	A P 目標延長		29.6km	33.0km	34.0km

農林水産省農村振興局所管海岸

	海岸名	市町名	嵩上げ対策	液状化対策	粘り強い構造への改良
1	浜岡海岸	御前崎市			
2	伊浜海岸	南伊豆町			
3	吉田海岸	南伊豆町			
4	大須賀海岸	掛川市			
	要対策海岸数		4	4	4
	要対策延長		2.2km	2.2km	2.2km
	A P 目標延長		2.2km	2.2km	2.2km

集計

	嵩上げ対策		液状化対策		粘り強い構造への改良	
	要対策延長 (km)	A P 目標延長 (km)	要対策延長 (km)	A P 目標延長 (km)	要対策延長 (km)	A P 目標延長 (km)
国土交通省水管理・国土保全局所管海岸	23.3	6.4	8.4	2.2	43.6	10.6
国土交通省港湾局所管海岸	52.0	29.6	50.7	33.0	53.5	34.0
農林水産省水産庁所管海岸	39.6	29.8	55.0	32.2	59.5	32.7
農林水産省農村振興局所管海岸	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2
合計	117.1	68.0	116.3	69.6	158.8	79.5

農林水産省水産庁所管海岸

	海岸名	市町名	嵩上げ対策	液状化対策	粘り強い構造への改良
1	初島漁港海岸	熱海市			
2	網代漁港海岸	熱海市			
3	宇佐美漁港海岸	伊東市			
4	八幡野漁港海岸	伊東市			
5	赤沢漁港海岸	伊東市			
6	大川漁港海岸	東伊豆町			
7	北川漁港海岸	東伊豆町			
8	片瀬漁港海岸	東伊豆町			
9	白田漁港海岸	東伊豆町			
10	稲取漁港海岸	東伊豆町			
11	下河津漁港海岸	河津町			
12	外浦漁港海岸	下田市			
13	須崎漁港海岸	下田市			
14	吉佐美漁港海岸	下田市			
15	田牛漁港海岸	下田市			
16	小稲漁港海岸	南伊豆町			
17	下流漁港海岸	南伊豆町			
18	大瀬漁港海岸	南伊豆町			
19	石廊崎漁港海岸	南伊豆町			
20	三坂漁港海岸	南伊豆町			
21	妻良漁港海岸	南伊豆町			
22	伊浜漁港海岸	南伊豆町			
23	雲見漁港海岸	松崎町			
24	石部漁港海岸	松崎町			
25	岩地漁港海岸	松崎町			
26	仁科漁港海岸	西伊豆町			
27	田子漁港海岸	西伊豆町			
28	安良里漁港海岸	西伊豆町			
29	小下田漁港海岸	伊豆市			
30	八木沢漁港海岸	伊豆市			
31	戸田漁港海岸	沼津市			
32	井田漁港海岸	沼津市			
33	西浦漁港海岸	沼津市			
34	内浦漁港海岸	沼津市			
35	静浦漁港海岸	沼津市			
36	蒲原漁港海岸	静岡市			
37	由比漁港海岸	静岡市			
38	西倉沢漁港海岸	静岡市			
39	用宗漁港海岸	静岡市			
40	焼津漁港海岸	焼津市			
41	吉田漁港海岸	吉田町			
42	地頭方漁港海岸	牧之原市			
43	福田漁港海岸	磐田市・袋井市			
44	舞阪漁港	浜松市			
	要対策海岸数		30	41	41
	要対策延長		39.6km	55.0km	59.5km
	A P 目標延長		29.8km	32.2km	32.7km

○ 市町管理の海岸

アクションプログラムでの実施箇所や対策の内容等については、今後の詳細検討や関係者との調整等により変更する可能性があります。

河川の津波対策施設整備の概要

津波を防ぐ施設高の確保

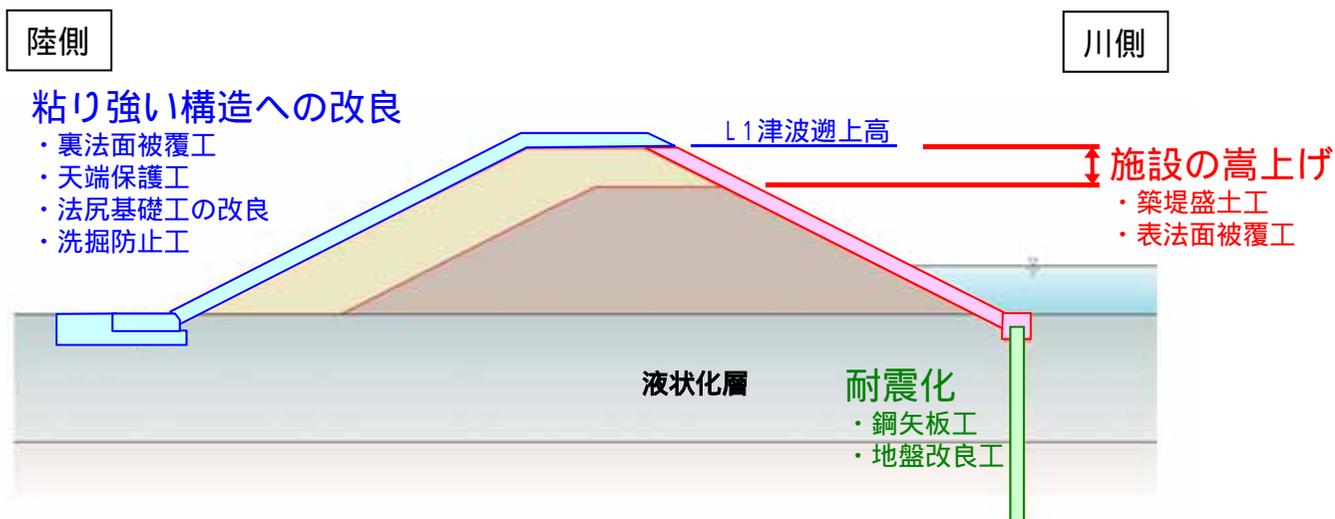
レベル1の津波に対して施設高が不足する河川（67河川）のうち、38河川（約55%）において津波を防御できる高さまで**施設の嵩上げ**（10河川）、又は河口部への**水門の設置・改良**（28河川）を実施〔達成時期〕H34年度末

施設の質的強化

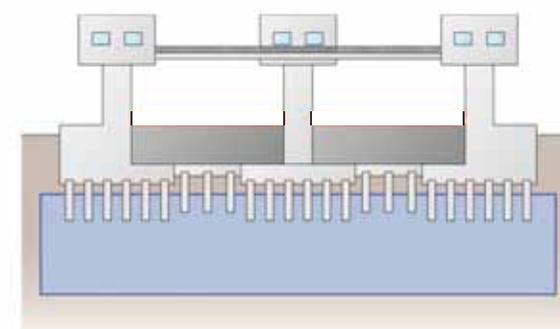
耐震化が必要な河川堤防（6河川）のうち、4河川（約65%）において液状化対策等を実施〔達成時期〕H34年度末

粘り強い構造への改良が必要な河川堤防（30河川）のうち、10河川（約35%）において整備を実施〔達成時期〕H34年度末

河川堤防の整備イメージ図



水門設置イメージ図



河川背後地の土地利用や堤防嵩上げとの経済性の比較等を総合的に検討し、施設の嵩上げより優位な場合は、水門設置により津波に対応

静岡モデルの推進

静岡モデルの推進

レベル1の津波を防ぐ高さの確保及び質的な強化に加え、津波の到達時間が短く、多くの人口、資産を抱えている低平地では広範囲に甚大な浸水被害が想定されるという本県特有の課題に対して、地域住民の合意など条件が整った地域では、既存の防災林、砂丘、道路の嵩上げ・補強等による安全度の向上策「静岡モデル」の整備を推進する。

静岡モデル整備に向けた沿岸市町（21市町）における検討会の設置を推進

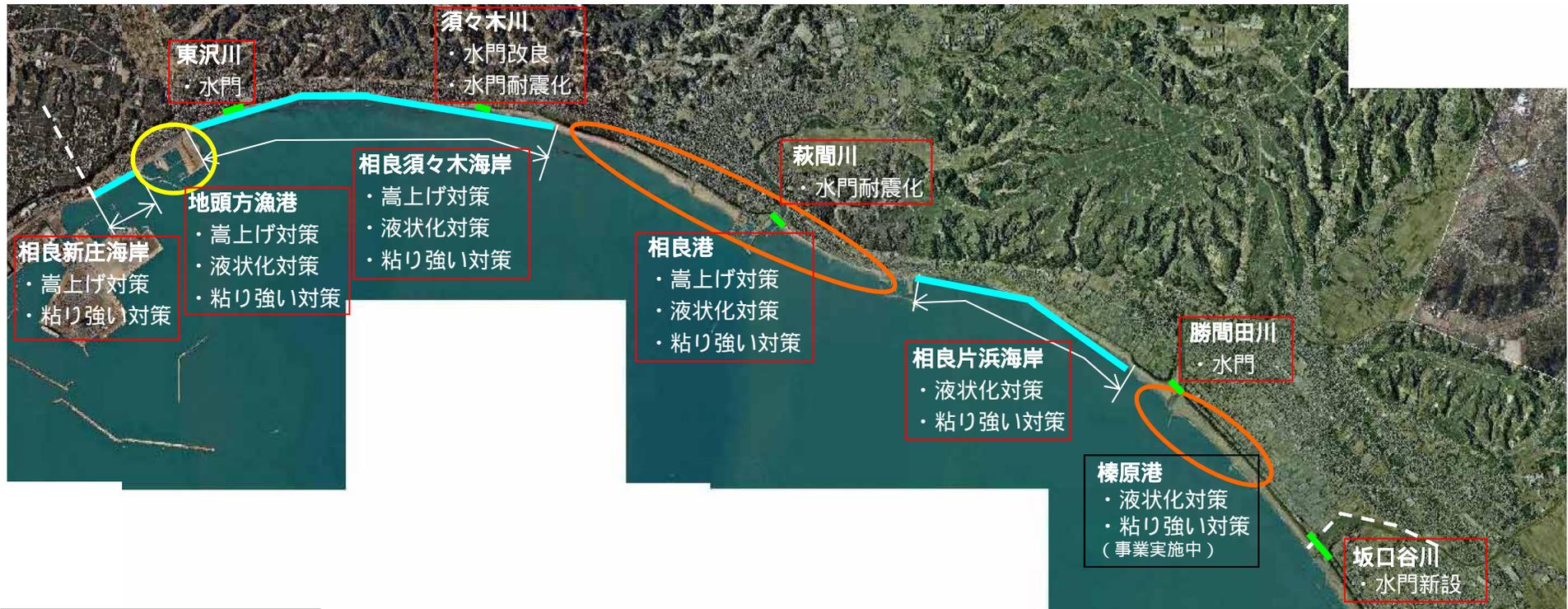
〔数値目標〕100% 〔達成時期〕H25年度末

事例（浜松市沿岸域防潮堤）



レベル1 津波対策位置図

イメージ



凡 例

L 1 津波に対する要対策箇所	
河川	港湾
海岸	漁港
A P 2013対象箇所	
市町境	

対策の内容や範囲等は今後の詳細検討の結果、変更となる可能性があります。

レベル1 津波対策の施設整備完了による効果

レベル1 津波

津波による浸水被害は発生しない

〔県全体の浸水面積〕 33.8km² () 0.0km²

【 L1津波（東海単独、東海・東南海、三連動、大正型関東）のうち各市町の浸水面積（浸水深1cm以上）の最大値の合計】

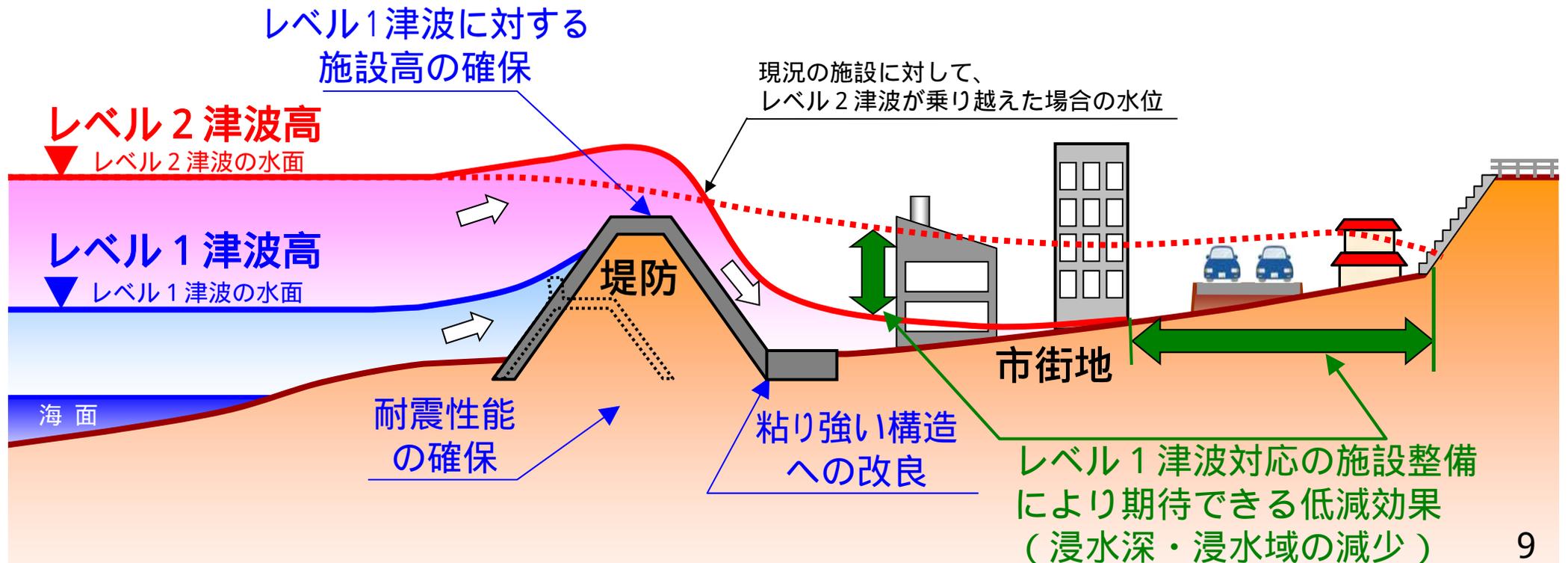
レベル2 津波

施設整備前に比べ、津波による浸水域や浸水深の減少などの減災効果が期待できる

〔県全体の浸水面積〕 161.8km² () 計算中 km² < 計算結果は後日公表 >

【 L2津波（南海トラフ巨大地震ケース , , , 元禄型関東）のうち各市町の浸水面積（浸水深1cm以上）の最大値の合計】

整備効果のイメージ図



< 参考 > レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 (市)

